



PRESS RELEASE

令和6年2月26日
取手市政策推進部 文化芸術課

令和5年度取手市長賞 美術分野の受賞作品が決定！

～東京藝術大学卒業・修了作品展の出展作品から2点を選定～

第32回取手市長賞美術分野の受賞作品を、第72回東京藝術大学卒業・修了作品展に出展された作品のうち東京藝術大学から推薦された優秀作品10点から2点選定しました。

取手市長賞（美術分野）は、平成3年10月に東京藝術大学の取手キャンパスが開校されたことを機に、平成4年度に東京藝術大学との交流事業の一環として創設されました。東京藝術大学卒業・修了作品展の優秀作品の中から毎年2点に取手市長賞を授与しています。

令和5年度は東京藝術大学から絵画4点、工芸6点、計10点の推薦がありました。取手市長が東京藝術大学卒業・修了作品展にて推薦作品全点を鑑賞し、下記の2作品を選定しました。

■第32回取手市長賞（美術分野）受賞作品

・油画

作品名 exuviae（イグズーヴィーイー）
作者 深海 絵理香（ふかうみ えりか）
東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻4年

・工芸（鑄金）

作品名 よりどころ
作者 岡本 美里（おかもと みさと）
東京藝術大学美術学部工芸科鑄金専攻4年

■令和5年度取手市長賞受賞作品公開予定

・油画《exuviae》

日程：令和6年3月22日（金）～31日（日） 午前10時～午後7時

会場：とりでアートギャラリー ギャラリー1（アトレ取手4階）

・工芸（鑄金）《よりどころ》

設置場所・公開時期については現在調整中です。

■取手市長賞（音楽分野）について

受賞者が決定次第、別途お知らせします。（3月上旬を予定）

<問い合わせ先は裏面>

問い合わせ先	取手市 政策推進部 文化芸術課 文化芸術振興係 担当者：市川（内線 1292） E-mail：art@city.toride.ibaraki.jp
--------	---

令和5年度 第32回取手市長賞（美術分野）作品（受賞者）について

・ 油画

作品名 exuviae（イグズーヴィーイー）
寸法 H227.3×W363.6（cm）
材質 油彩、キャンパス（パネル）、綿布
作者 深海 絵理香（ふかうみ えりか）
美術学部絵画科油画専攻4年
生年月日非公表



作者コメント

今回の作品は、「人の形をしているけれど、人間でないもの」を描こうと思った。絵画の良さは、違和感だと思う。一見、人を描いてしまうと、それ（人間）にしか見えないけれど、「人のようなもの」を描くと、余白が生まれて色んなことを考えたり思い出したり出来る。そんな絵を描きたかった。

東京芸術大学推薦理由

深海さんはスピード感を持って瞬発的に入り、短時間で仕上げる絵画制作スタイルで持って学部の4年間、人物、風景と私生活をテーマに、コンスタントに描き続けており、特に人物の顔の表現を探るため、スタイルを微妙に変えながら数多くの実験を試してきている学生である。最後のこの卒業制作は顔と背景をつなげるため、毎日目玉焼きを作り観察し続けながら画面に対して苦手とする引き手を見つける探究であったが、提出期限間近で手応えを見つけた瞬間が見え隠れしている見応えある絵画作品に仕上がっていることにより推薦いたします。

令和5年度 第32回取手市長賞（美術分野）作品（受賞者）について

・工芸（鑄金）

作品名 よりどころ

寸法 2点組

（右写真）H153×W40×D40（cm）

（左写真）H108×W40×D40（cm）

（台座を含む）

材質 ブロンズ

作者 岡本 美里（おかもと みさと）

美術学部工芸科鑄金専攻4年

1996年9月13日生



作者コメント

私が過ごした大学4年間はコロナに始まり、度重なる地震や戦争が始まるなど不安を抱える事の多い日々でした。その中で自分が専攻している工芸という分野を通して少しでも人の心に寄り添う作品を作りたいと思いました。

東京芸術大学推薦理由

岡本美里の「よりどころ」は、学生としてコロナ禍を経験した作者の平穏な日常への願いと祈りが込められている作品です。自由気ままに振る舞う猫を、狛犬のように見立てて造形し、親しみやすい守護動物として表現しています。鑄金の伝統的な技術であり、より環境負荷の少ない「真土込め型」で鑄造することを選択し、鑄物らしく触感豊かに仕上げたことが、作者の想いに説得力を与えています。また、この作品は撫でられることで人に寄り添い、経年変化していくことを願っており、公共の場で永く市民に愛される取手市長賞にふさわしい作品といえます。